

2025. 3.6 本が出ます！

『「愛と知の循環」としての保育実践』の本が園に届きました！

何十年も本園の研究にお力添えをくださっている無藤先生、岸野先生。園の研究集会にも来てくださった古賀先生。そのお三方の編著による本。すごすぎます。

そして、愛と知の循環にかかわる素敵な実践がたくさん載っている本です。

その中の第5章部分に本園の実践も掲載されています。

貴重な機会を与えていただき、大変感謝しております！

本園が研究として進めてきた「出会い、気づき、好きになる」そして「好きが広がり、世界をひらく」はまさしくこの「愛と知の循環」と通じるものだと信じ、「愛と知の循環」は我々の研究の道しるべとなっているものです。

子供たちは、出会いと気づきを重ねながら、その子なりに「好き」になっていく。そして、「好き」だからこそ、「もっと知りたい」、「もっとやりたい！」と思う。自ら知識や技能として習得した先には、その対象に対する奥深さ、面白さ、不思議さに気づき、さらに「好き」になる。その「好き」を自分なりに広げたり、周囲に広げていくことで、より広く知り、未知なる分野、世界にたいしても興味が広がっていく。その先の世界へ期待感を持っていく。本園ではこのような幼児教育をどのお子さんにも保障していきたいと願っています。

この本を職員でさらに熟読し、今後の保育の質向上につなげていきたいです！

是非みなさんもお手に取っていただけると嬉しいです！よろしくお願いいたします。

ちなみに写真は本に掲載されている本園事例の時の年長担任ペアです。

